

おかびら市議会

かわら版

No. 60



第2回定例会は、6月22日開会され、専決処分2件、令和3年度一般会計補正予算、条例改正等7件の議案、報告3件、意見書案7件が審議されました。条例改正等5議案が行政常任委員会に付託され、慎重審議の結果、すべての議案が全会一致で原案どおり可決され、25日に閉会となりました。

一般質問は、24日に4名、25日に2名の6名が行いました。（質問の概要は2ページから5ページに掲載いたしました。）

相互に礼

市議会のコロナ対策



議員側は間隔をあけて着席



理事者側のパートーション

一般質問（6名）

日本共産党



木村 恵



木村 恵

新型コロナウイルス感染症について

【質問】北海道は6月28日から1週間分の感染者数を市町村別で公表する方針を示した。小さな自治体では感染者が特定され差別的な扱いを受ける懸念や、風評被害、過剰な自粛による経済活動への影響が出るかもしれません。大切なことは1人1人が感染対策をしっかりと行い、他の人がどこに行つたとか何をしていたとか干渉をしないことだと思います。こういった啓発の必要性を伺う。

【答弁】感染者が特定されることで、個人や家族に対する誹謗中傷、干渉することはあってはならないことだ。これらについては繰り返し、差別につながるような干渉や誹

生理の貧困について

【答弁】宣言解除直後に営業を再開した店もあるが、すぐに客足が戻るかどうかもわからず、不安もあり大変厳しい状況だと聞いている。赤平市はまん延防止等重点措置区域外となつていて、食事の際は、感染防止がされていない飲食店の利用を控える、4人以内など少人数、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時にはマスクを着用するなどの要請がなされている。

誇中傷が起きないよう広報やホームページ、SNS等を活用し引き続き周知していきたいと考えている。

謗中傷が起きないよう広報やホームページ、SNS等を活用し引き続き周知していきたいと考えています。



大きくなっている。全国で多くの自治体が学校や公共施設のトイレなどへ設置する方法など様々な取り組みを行っている。赤平市はこの問題に対してどのように取り組んでいるのか伺う。

【答弁】各学校では保健室に生理用品を常備しており、忘れた場合や緊急時などそのつど養護教諭が手渡したり、決められた場所から児童・生徒が持つて行けるようには柔軟な対応を行つており、消耗品的な用品については無料提供している。現時点ではトイレに設置するなどの必要性は低いと考えているが、設置している自治体では「本当は必要だけど言い出せなかつた生徒にも届くのではないか」とのコメントもあることから、今後学校現場と情報交換しながら協議していくべきないと考えている。

【答弁】優先接種者にわざされた「接種券付き予診票」を発行するワクチョン接種円滑化システムとワクチン接種記録システムが連携していないので、優先接種者等について接種券の発送の対象から除

〔質問〕 65歳以上の高齢者に対する事前予約受付については、インターネットや電話での5段階受付と一定期間をおいた後の接種券送付は混雑を避けるために非常に素晴らしいやり方で市民には大変好評だつた。しかし、既に接種された優先接種者に対し重複して接種券が送付された。ワクチン接種に関してワクチン接種対策室が一元管理なのに何故、重複送付がされたのか伺う。

【質問】5月24日の市立病院における接種受付初日は病院職員の適切な対応により大きな混乱に至らなかつたが、この様な時に新型コロナウイルスワクチン接種対策室の責任者（市長）として、職

An illustration showing a medical professional with short dark hair, wearing a white coat and a face mask, administering a vaccine to a young boy's upper arm. The boy is also wearing a face mask. The background is plain white.

第六章 人事管理

A black and white portrait of a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit and tie. He is looking slightly to his right. Above the portrait, the text "新政クラブ" is written in large, bold, vertical Japanese characters. Below the portrait, the text "北市 勳" is written in large, bold, vertical Japanese characters.



北市 動

く必要はない」と示されて
いたから重複送付が生じ
た。

【質問】64歳以下の市民
に対する受付及び接種予
約はどの様にされるのか
伺う。

【答弁】64歳以下の接種
券の送付は大きく4つの
年齢帯に区切り年齢が上
の方から順に発送する。

員への激励や市民への対応に顔を出すべきと思うが、この様な場面で顔を出すことについてどの様に考えているか伺う。

【答弁】自分（市長）が顔を出すと職員に気を使わせたり、邪魔をしてはいけないと考え、初日の24日は視察を差し控えた。

て|移住・定住の促進について

太陽光発電施設の設置規制に係る条例の制定について

新政クラブ



繁

【質問】豊栄町でも泉町でも最近に、発電施設が設置されている。見栄え

が悪く、財産価値も低減するとと思われるが、市としての見解を伺う。

る。今後も市民の困つて
いることに耳を傾け、検
討してゆく。

【質問】令和2年12月時
点で、全国で134の自治体が条例を制定していく。当市の、今後の取組みについて伺う。

【答弁】条例を制定する自治体は増加傾向にある。国も再生可能エネルギー

質問 「住みたい田舎」
ベストランディングに記載
の「住みたいまち」を作
ることは当市の人口減少
対策・社会減少対策とし
ての移住・定住の促進案
として期待が出来ると思

【答弁】 「住みたい田舎」ベストランディングに回答、応募する旨を指示した。

【質問】近隣住民は、現在も施設の撤去と今後、同じ思いをする人が出ない様、条例の制定を希望している。第6次赤平市総合計画で「安全・安心で快適に暮らせるまち」とあるが、市民は、快適に暮らせていると思うか。

炭鉱遺産施設の見学に係る案内等について

【質問】空知川露頭炭畠の見学施設への案内標識と駐車場の整備予定、情報発信等について伺う。

一般行政職員の今後の人事 数の最適化について

部樂俱備者



鈴木 明広

【答弁】設置から19年経つており、文字の一部がはがれたり、ひび割れしており補修する。
〔質問〕炭鉱ガイダンス施設に、「炭鉄港」関連施設の総合案内看板を設置しては如何か。
【答弁】地域振興に關係するので、場所や効果等他市の事例も参考にして検討する。

約15年で80人まで漸減する。80名という職員数を目標にして、遂行するためには、職員数を削減する課を選択しなければならないと考える。行政推進室責任者が中心となり、府内各課横断で綿密に議論を重ねていく体制を作ることが必要になる。どのように業務内容の効率化を進捗させながら合理的に職員数の最適化を図るつもりであるかを伺う。

【答弁】地域振興に関するので、場所や効果等他市の事例も参考にして検討する。

今後の人材の配置にいたりは、職員の任用にあたり各課長から業務内容や人員配置などについてヒアリングをおこない、各課の現状把握に努めて

いる。行政機構についての見直しも実施していかなければならないと考える。今後、職員数については、行財政改革推進室において財政推計や類似団体等の状況も参考としながら検討する。人員配置については、当市の置かれている状況等を鑑みて適正なものとなるよう検討する。

公共施設等管理計画の今 後10年間の実施見通しについて

〔質問〕 2019年11月
の「ダイヤモンドオンライン」の「インフラ危険度」ランクインにおいて当市は、1578自治体中「第3位」である。平均更新費率が高い当市は、今後の更新整備費のさらなる増加に対応する余力が少ない。自主財源のみによる公共施設等の「除却」事業計画は可能なのか。当市の10年間でおよそ約9億円におよぶ除去費用の確保は、かなり厳しいと思われる。計画倒れにな



【質問】除却費は性質別経費分類では物件費となるが今までどのぐらい費用をかけてきたのか伺う。

【答弁】単独事業での除却はほぼ実施できなかつた。単独事業の抑制や過疎債のソフト事業の活用、その他有利な財源を模索するなど、除去費用の財源確保に努め実施して参りたい。

【質問】「第6次赤平市総合計画」及び「第2期赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略」の事業

たすけ愛商品券の第2弾を準備中。担当職員も各企業や商店を訪問し、電話での状況把握にも努めている。今後とも商工会議所や産企協と連携しきできる限り支援していきたい。

【答弁】老朽公営住宅の除却後の宅地分譲や民間賃貸住宅建設等、跡地利用も進んでいるが、学校の統廃合による旧校舎の解体除却は財源調達が難しく、大変困難であるが銳意努力していきたい。

【答弁】公共施設の総量
が多い当市においては、
将来の負担軽減や防犯・
防災上の観点から、遊休
公共施設になつておりますが、
後の利活用が見込まれない施設については除却を
していかなければならぬ。
財源については大変

市長の所信表明、市政執行方針の進捗状況について

新政クラブ



御家瀬 遵

【答弁】まちづくり市民会議は公開で協議し、住民懇談会や団体懇談会を通じて意見交換してきた。

地域公共交通活性化協議会の協議内容はホームページで公開している。

【質問】赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略の進捗状況と実現のための市長の考え方を伺う。

【答弁】就職祝金交付事業や奨学資金貸付金返還

〔質問〕当市は多数の遊休施設や遊休地を抱えて
いるが、今後の管理上の
対応について伺う。

は、図書館と炭鉱歴史資料館等の機能を持つこととした。

ナウイルスにより打撃を受けている企業に、市独自で中小企業継続支援金と雇用者加算を3度実施し、飲食店にもプレミアム付き商品券の増額や、
【質問】当市の遊休施設は老朽化が著しく、景観を損ない、安全面からも早急な対応が求められるが、市長の考えを伺う。
〔答弁〕老朽公営住宅の一

個別施設計画と公有財産 などについて

民主クラブ



今後の支援対策について

ワクチン接種について

【質問】現在までのワクチン接種における、副反応の有無と程度について伺う。

【答弁】市立病院の医療従事者の副反応調査では、アナフィラキシーショックはなく、倦怠感、発熱、頭痛などが一定程度で見られ、ほとんどが2日程で回復している状況。

【質問】64歳以下の接種にて、接種券を一定の年齢ごとに送付、同日到着であれば基礎疾患のある人が優先して申し込み可能。児童・生徒へは、医療機関での個別接種としている。生徒には日曜日と平日17時以降の接種も予定している。

【質問】多くの道路にごとに送付、同日到着すれば基礎疾患のある人が優先して申し込み可能。児童・生徒へは、医療機関での個別接種としている。生徒には日曜日と平日17時以降の接種も予定している。

【質問】基礎疾患のある人と、12歳～15歳までの児童・生徒への対応について伺う。



第2回臨時会 4月23日

【質問】現在、6月～8月までの支援策を実施または準備中。それ以降の経済回復においては、企業への聞き取り等や、国や道の支援策の情報収集を行い、今後のコロナ禍の状況に対応した支援策など必要に応じ検討していく。

【質問】ゴミの不法投棄と監視力の設置について

【質問】多くの道路にごとに送付、同日到着すれば基礎疾患のある人が優先して申し込み可能。児童・生徒へは、医療機関での個別接種としている。生徒には日曜日と平日17時以降の接種も予定している。



【質問】多くの不法投棄が見受けられ、地域の人たちも大変な迷惑をしている。赤歌舞署と赤平市連名の大型警報看板などを設置したが、無視され新たなごみが周りに散乱している。毎年、アの皆さんとの「いたち

【答弁】様々な機会を通じて啓発活動を地道に行なうことは重要。カメラ設置に多額の費用180万円がかかり、維持管理やデーター管理も含めた対応が伴い現段階での設置は難しい。桜木町と吉墓地との区間は、道路管理者の北海道と対策について協議していく。

第2回臨時会では令和3年度補正予算3件、赤平市税条例の一部改正についての専決処分の報告2件が審議されました。慎重審議の結果、すべての案件が全会一致で原案通り可決されました。

【質問】ごつこが続いているおり、特に桜木町と住吉墓地との区間は、最近の地方紙に「赤平のごみロード」とまで揶揄されている。ここは道道なので道路管理者との補助金等も踏まえた協議も必要ではないかと思う。また、特定区域に監視カメラを設置し、効率よく解決すべきと考えるが、行政の考えを伺う。

【質問】補正予算の主な内容は以下の通りです。コロナ感染症対策として子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）・感染症対策雇用継続支援補助金・感染症対策中小企業等事業継続支援金・スープレミアム付き商品券発行助成補助金・ナイト店舗リース機器等補助金・たすけ愛商品券換金等業務委託料等でした。

《議会の動き》



3/ 5 議会運営委員会

3/16 議会運営委員会

3/18 議会運営委員会

3/22 行政常任委員会

- ・行政常任委員長の互選について

3/22 議会運営委員会

4/ 7 北海道市議会議長会道央支部協議会（書面会議）

4/20 議会運営委員会

4/27 第84回北海道市議会議長会定期総会（書面会議）

5/ 7 中空知広域圏市町村組合臨時会（滝川市）

5/11 全国市議会議長会役員選考委員会（リモート会議）

5/18 行政常任委員会

- ・あかびら市立病院の経営状況（10月～3月分）について
- ・新型コロナワクチン接種体制について
- ・新たなごみ袋のサイズ導入について

- ・第50回あかびら火まつりについて
- ・赤平市個別施設計画の策定並びに赤平市公共施設等総合管理計画の改定について
- ・旧赤平中央中学校体育館の落雪事故に係る経過報告について
- ・赤平市地域防災計画の修正について
- ・赤平市コロナウイルス感染症対策について
(北海道への緊急事態宣言の発令による当市の対応)
(赤平市コロナウイルス感染症対策本部)

5/19 全国自治体病院経営都市議会協議会第49回定期総会（書面会議）

5/26 全国市議会議長会第97回定期総会（書面会議）

6/ 1 根室本線対策協議会総会（延期）

6/17 議会運営委員会



◎意見書7件可決

全会一致での採択7件

*学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書

*林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

*2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

*義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・充実と就学保障の実現に向けた意見書

*地方財政の充実・強化に関する意見書

*北海道への「核のごみ」持ち込みに反対する意見書

*保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書

※詳しい議決結果及び賛否の公表については赤平市議会ホームページに掲載しています。

かわら版編集委員会
委員長
木村 東 安藤
鈴木 五十嵐 成 繁
明広 美知 恵 一
(東)

昨年から、長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響で、市民の皆様におかれましては、不安を抱えながらの生活を送られているのではないかと察します。
さて、コロナワクチン接種が、徐々に進んでおりますが、変異株の感染拡大の動向も注視しなければなりません。薬効の成果が現れ、早期のコロナ終息を願うばかりです。市内の飲食業・企業・商店等が、経済的に大きな影響を受けられている事に対し、市議会として、耳を傾け対応しなければなりません。
今後も、市民生活の向上や、経済対策等様々な問題に対応する所存であります。
あと少し暑さの厳しい季節が続きます。マスク着用による熱中症等に気を付けてお過ごし下さい。

編集後記

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。